

ホタルの 手引き



みなさんはホタルを見たことがありますか？

ホタルは、わたしたちのまわりにある、
きれいな流れの川や
静かな山の中でくらしています。

お父さんやお母さん、みんないっしょに、
ホタルに会いに行きませんか？

ホタルに会って、
わたしたちのふるさとの美しい環境の
大切さを見つめ直してみしょう



きょうどうすいしん
夢づくり協働推進事業

「ホタルや身近な生き物の保護を通じた清流の保全」



ホタルの豆知識

その1 ホタルの種類

岡山県にいる代表的なホタルは、ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルの3種類です。

その2 ホタルはどの虫の仲間

ホタルは、昆虫の中ではクワガタムシやカブトムシなどと同じ、甲虫類こうちゅうるいの仲間です。

その3 ホタルのくらし

ゲンジボタルやヘイケボタルは、その一生のほとんどを水の中でくらしします。ゲンジボタルの幼虫ようちゆうは清らかな流れの川で、ヘイケボタルの幼虫ようちゆうは水田や池などで、貝などを食べてくらしながら大きくなります。

これに対し、ヒメボタルは、陸の上でくらしします。ヒメボタルの幼虫ようちゆうは、林ややぶの中の、木の葉っぱの下でくらしながら大きくなります。

ふだん、わたしたちが見ることができるホタルは、成虫になって飛んでいるすがたです。大人になって飛び交うホタル、それは、ホタルの一生の中でも終わりに近いものなのです。

その4 ホタルの光

ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタル、どのホタルもおしりの部分が光ります。成虫の時だけでなく、卵たまごから幼虫ようちゆう、そして、さなぎになっている時にも光ります。ホタルは、一生を通じて光るのです。

その5 光り方のちがい

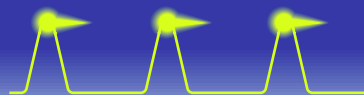
よく見比べると、ホタルの種類により、光り方がちがうことが分かります。

オスの光り方を比べると、ゲンジボタルは、おおよそ2秒に1回、尾を引くように光ります。ヘイケボタルは、これより短く、1秒と少しに1回、またたくように光ります。

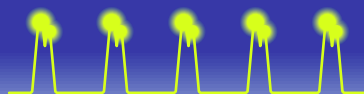
ヒメボタルは、すばやく、おおよそ0.5秒に1回、パッパッと光ります。

オスとメスとでも光り方はちがいます。ゲンジボタルの場合、飛びながら光を点めつさせているのは、ほとんどがオスです。メスは、草の上などで弱い光を放ちますが、オスのように点めつさせることはしないで光っています。

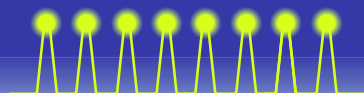
ゲンジボタル



ヘイケボタル



ヒメボタル





その6 ホタルの一生

ホタルの一生はどのようなものでしょうか。ゲンジボタルを例に、少しくわしく見てみましょう。

1 たまご

メスは、水辺のコケや草むらに卵を生みます。1匹のメスが生む卵の数は、おおよそ500個、卵の大きさは、おおよそ0.5mmです。



2 幼虫

卵は、おおよそ30日でかえり、幼虫になり、川の中に入ります。川の中では、カワニナという巻き貝を食べながら大きくなります。とちゅうで何回も脱皮をしながら(おおよそ6回)、2~3cmくらいまで大きくなります。



3 さなぎ

幼虫は、4月の桜の花のさくころの、雨の降る夜、川からはい上がり、土の中にもぐります。土の中でさなぎになり、成虫になるまで過ごします。



4 成虫

成虫は、5月の終わりにから6月にかけて、土の中からはい出して、飛び立ちます。500個もあった卵から成虫になれるのは、ほんの少し(2、3匹)といわれます。昼間は草かげなどで休んで、夜になると、飛び出します。成虫になってからは、夜露を飲むだけで何も食べません。成虫になったホタルは、わずかな期間(10日から2週間くらい)しか生きられません。

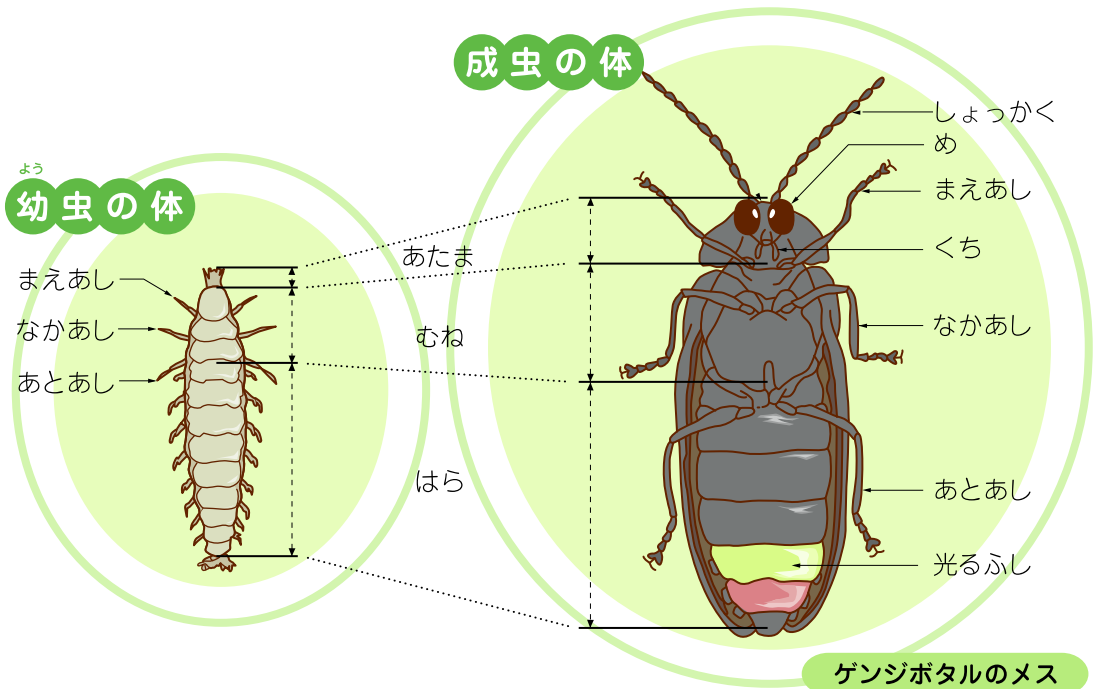




ホタルの体

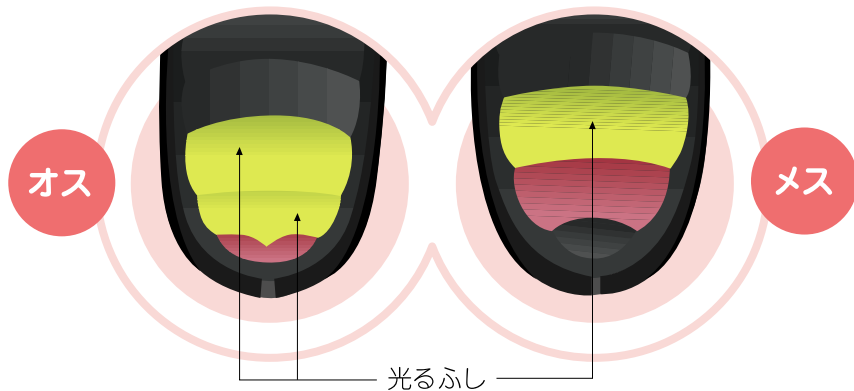
ホタルの体はどのようなものでしょうか。ゲンジボタルを例に、少しくわしくみてみましょう。

その 7 よう 幼虫の体・成虫の体



その 8 光るところのちがい

光るのは、おしりの部分の「光るふし」です。このふしには、光を出す“発光器”^{はっこうき}があります。オスとメスとでは、光るところが少しちがいます。オスとメスのおしりの部分を比べてみましょう。



その 9

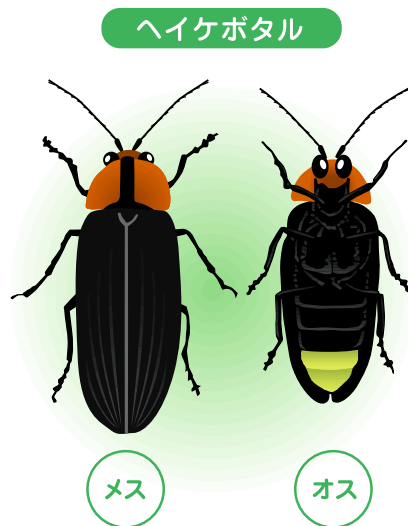
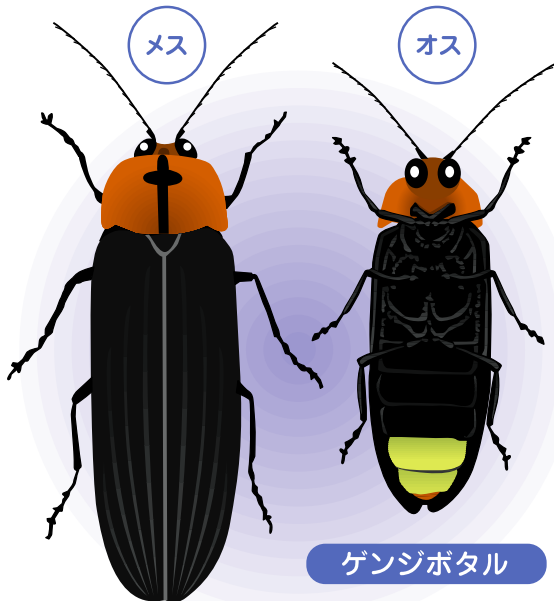
ホタルの体の大きさ

体の大きさは、それぞれ、どうでしょうか。

ゲンジボタル オス おおよそ1.5cm、メス おおよそ2cm

ヘイケボタル オス おおよそ1cm、メス おおよそ1.2cm

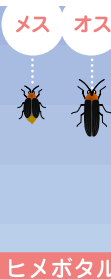
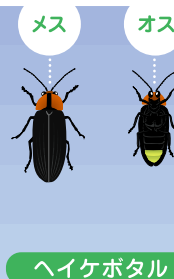
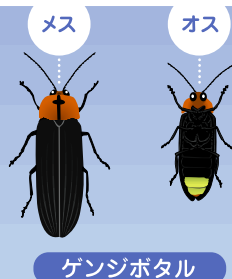
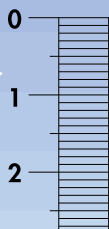
ヒメボタル オス おおよそ0.6cm、メス おおよそ0.4cmですが、ヒメボタルは、特に、すんでいる所により、大きさがちがうといわれています。



わかるかな？

頭のところも^{くら}見比べてみましょう。
中央の黒いもようも、形がちがいます。

さい
実際の
大きさ





ホタルを観察しよう

ホタルを調べに、みんなで、出かけましょう。

その10 安全のこと

夜になり、川や山など、暗い所に行くことになるので、安全には気をつけましょう。

注意
すること★

★ 一人では出かけないように、かならず大人の人といっしょに出かけよう。

★ 気をつけて行動しよう。危ない所には行かないようにしよう。

★ 服装は、長ズボン、長くつの方がよい。ぼうしもあった方がよい。

★ かい中電灯は必要。でも、これは自分の足元を照らすため。ホタルには向けないように。

★ 観察のための道具も持って行こう。

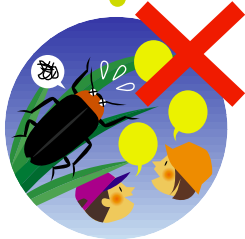


その11 守ってほしいこと

ホタルのために、守ってほしいマナーがあります。

静かに

ホタルは大きな音が苦手です。



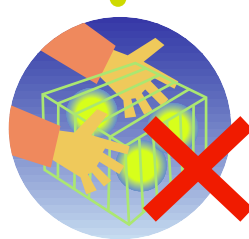
あかりは必要最小限に

ホタルはあかりが苦手です。明るすぎると自由に飛ばません。



もって帰らない

ホタルは、自然の中でくらしています。生まれた所でくらしてこそホタルは元気なのです。





その12 観察を続けよう

観察を続けると、いろいろなことに気づきます。

日にちとの関係

いつごろから飛び始めましたか
一番多く飛び交っていたのは、いつごろですか
いつごろが見たのが終わり(見おさめ)でしたか



場所との関係

同じ川の流れの中でも、場所によって、よく飛ぶ所がありませんか
場所が変われば、飛び始める時期がちがいませんか



その13 観察の結果を比べよう

観察の結果を比べて考えてみましょう。

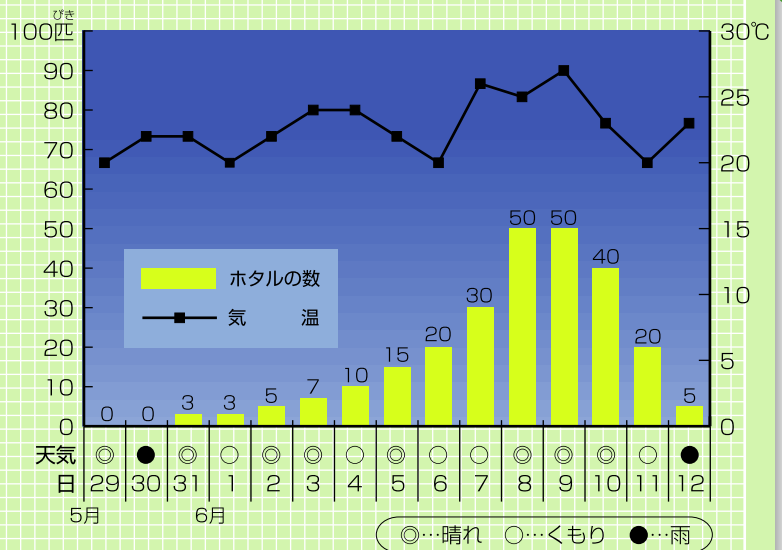
年によるちがい

ホタルの発生の様子は、去年と今年とでは、同じでしたか
もしちがっていたら、それは、なぜでしょう

●●●●年

活動の記録

- 月●日 ●●川の上流のそうじ
- 月●日 ~ ●●川の上流の発生数を調査
- 月●日 ●●川の上流の発生数を調査
- 月●日 ●●川の上流の発生数を調査
- 月●日 ●●川の上流の発生数を調査
- 月●日 ●●川の上流の発生数を調査
- 月●日 ●●川の上流の発生数を調査
- 月●日 ●●川の上流の発生数を調査





ホタルのおお、

かんきょう
美しい環境を大切に

ホタルがくらししているのは、わたしたちのまわりにある、きれいな流れの川や静かな山の中です。このような川や山の美しさは、わたしたちのふだんのくらしと深いつながりがあります。ホタルがいつまでもくらし続けられるような、身近な美しい環境を、大切に守りましょう。



さっし びっちゅうちいき ほご
この冊子は、備中地域の各地でホタルの保護に取り組んでいる方々と備中県民局の環境課が協働して作りました。

この冊子のこと、そして、ホタルや身近な環境を守る
ことについて、みなさんのご意見をお待ちしています。
次のところまでおよせください。

岡山県備中県民局 環境課



住所 〒710-8530倉敷市羽島1083



電話 086-434-7007 (直)



FAX 086-425-2156